

総合的病院・市民が真に必要とする医療を求める陳情

逗子市議会議員 高野 毅殿

貴議会におかれましては、日頃より政務への誠実な取り組みに感謝いたしております。

今回の病院誘致は、私が記憶するだけでも4回目でしょうか、今度こそ市民の健康と生命を守る素晴らしい病院を、と待ち望んでおります。

しかし、今回の病院計画について幾つか心配な事があります。当初市が提示した「病院誘致にあたっての基本的考え方」等には、

- ・ 救急医療の充実。救急搬送時間（平均42分）の大幅改善
- ・ 小児科や産科の充実
- ・ 病床は最低200床以上

他を目指すとのことでした。ところが現状において、これら何一つ満足した状況にない事を知りました。現状の私の認識は以下の通りです。

- 24時間365日救急による搬送時間の大幅改善は目途が立たず
- 小児救急は絶望的、産科も断念
- 病床数は未だ109床。
- 病院面積は一時20000㎡あったものが16200㎡に縮小。階数も5階から4階に。また、公募時の建築は開放的で素敵な計画でしたが、公募が通るなり閉鎖的・旧来的なローコストデザインに変更されています。

これらの病院機能は、市民が真に必要とする医療を叶えるとは到底思えません。

県を交えた地域医療や病院機能の検討が不十分のまま、医療法人の経営ベースで計画が進められ、結果、上記のような市民にとって不利益な変更が繰り返されています。

売却すれば数十億円になるといわれる計画地（市有地）を無償貸与とするならば、本当に優れた病院を造って頂かなくては困ります。市は医療法人との協議において市民が真に必要とする医療を毅然と要求しているのでしょうか。信頼できません。

市民の総合病院への要望を改めて問うてください。例えば、市民の求める病院の理想が

- ⇒ 24時間365日救急
- ⇒ 小児救急を始め、小児科・産科の高度医療
- ⇒ それら機能を担保するため十分な病床数
- ⇒ 公募時の明るくゆとりある病室や、優秀な医療スタッフと高度な医療機器

であるならば、これらの理想にどれほど迫れるのか、貴議会は市民の要望の実現に全力を投じて頂きたい。医療法人ありきではなく、市民ありき。経営優先というより地域医療や病院機能の充実こそ、貴議会のイニシアティブに期待するところです。

貴議会におかれましては、市当初の「基本的考え方」のほとんどが、医療を必要とする市民にとって不利側に振れている現状を早急に是正してください。そして、市民が真に必要とする医療を改めて調査し、それを市と医療法人に求めるようお願い申し上げます。



2018年5月31日

逗子市沼間2-23-24

桐ヶ谷 まり

